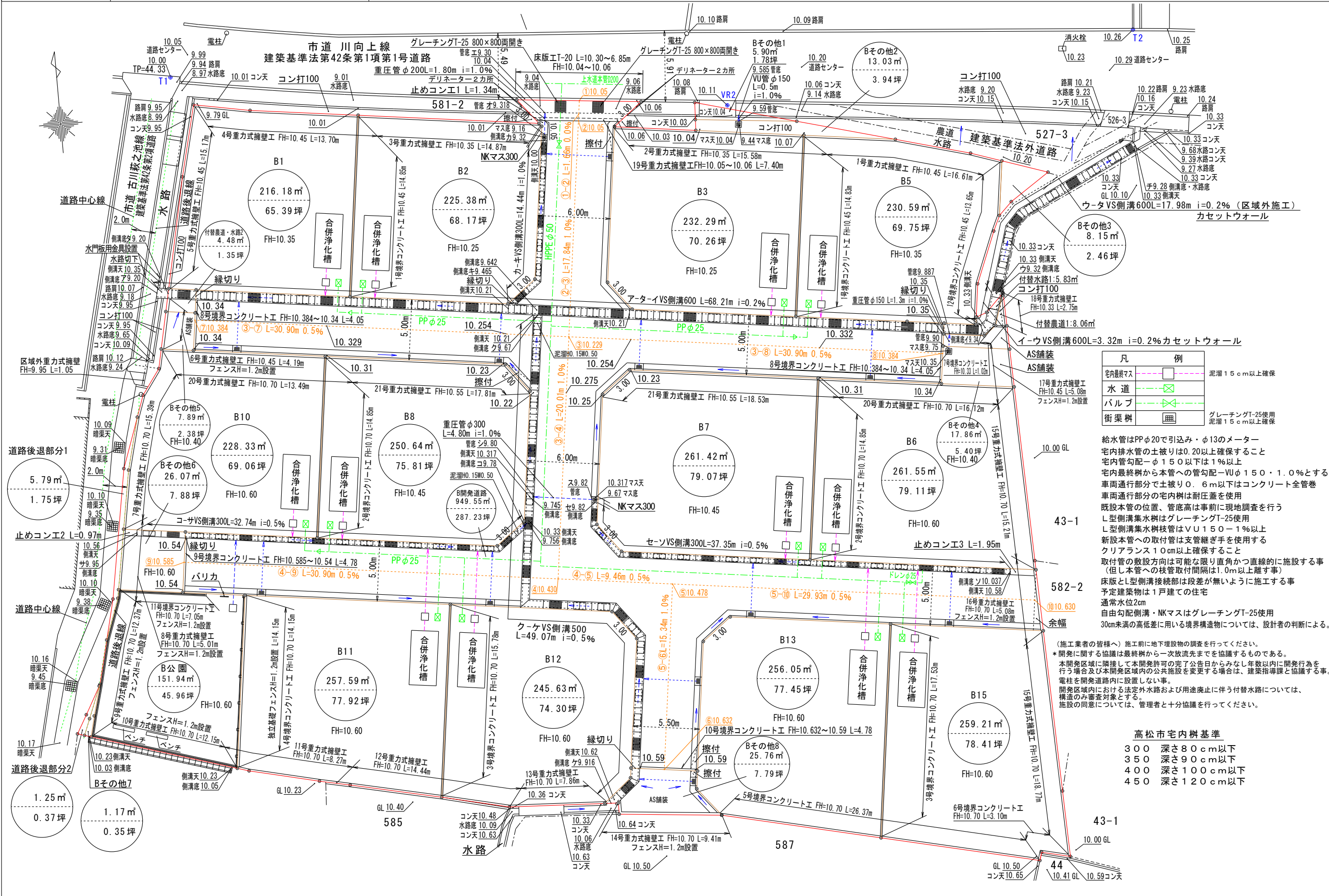


# 土地利用計画図

土地の所在

高松市西山崎町字川向上  
581-1, 581-2の一部, 582-1, 583-1, 583-2  
高松市川部町字池ノ坊  
43-3, 43-4 および地先農道・水路



開発許可  
年月日

第  
20133  
令和  
6年  
3月  
21日

申請者

代表取締役 増元 竜彦  
(株)ロータリーハウス不動産

作成者  
住所・氏名

行政書士 石井 正志  
高松市春日町1643番地9

凡	例	
宅内最終マス		泥溜15cm以上確保
水道		
バルブ		
街渠樹		グレーチングT-25使用 泥溜15cm以上確保

給水管はPPφ20で引込み・φ13のメーター  
宅内排水管の土被りは0.20以上確保すること  
宅内管勾配φ150以下は1%以上  
宅内最終樹から本管への管勾配-VUφ150・1.0%とする  
車両通行部分で土被り0.6m以下はコンクリート全管巻  
車両通行部分の宅内樹は耐圧蓋を使用  
既設本管の位置、管底高は事前に現地調査を行う  
L型側溝集水樹はグレーチングT-25使用  
L型側溝集水樹枝管はVUφ150・1%以上  
新設本管への取付管は支管継ぎ手を使用する  
クリアランス10cm以上確保すること  
取付管の敷設方向は可能な限り直角かつ直線的に施設する事  
(但し本管への枝管取付間隔は1.0m以上離す事)  
床版とL型側溝接続部は段差が無いように施工する事  
予定建築物は1戸建ての住宅  
通常水位2cm  
自由勾配側溝・NKマスはグレーチングT-25使用  
30cm未満の高差に用いる境界構造物については、設計者の判断による。

(施工業者の皆様へ) 施工前に地下埋設物の調査を行ってください。  
\*開発に関する協議は最終樹から一次放流先までを協議するものである。  
本開発区域に隣接して本開発許可の完了公告日からみなし年数以内に開発行為を行う場合及び本開発区域内の公共施設を変更する場合は、建築指導課と協議する事。  
電柱を開発道路内に設置しない事。  
開発区域内における法定外水路および用途廃止に伴う付替水路については、構造のみ審査対象とする。  
施設の同意については、管理者と十分協議を行ってください。

高松市宅内樹基準

300	深さ80cm以下
350	深さ90cm以下
400	深さ100cm以下
450	深さ120cm以下

縮尺 1/300